

神代農場田植えの準備について紹介します。

毎年、神代農場では都市園芸科、緑地計画科、定時制の生徒が田植え実習を行っています。今回は種もみの予措から播種までについて紹介をしたいと思います。

*予措とは播種前に行う種もみの処理のことを言います。



種もみの選別を塩水選で行います。
密度 1.10 g/cm^3 の食塩水に入れます。



浮いたもみは取り除き、沈んだもみを使います。



選別した種もみは神代農場の湧き水に
6日程度浸種します。



催芽 (30°C程度の) ぬるま湯に20時間
浸し、芽が出やすい状態にします。



苗箱に土を入れ、ばらまきで播種します。



覆土し、底面冠水を行います。
その後、温室で育苗管理をしていきます。